

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 3月 22日

事業所名 ファーストステップ池袋教室 6/6

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善点、改善目標、工夫している点について
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2	0	自由遊びの時間と支援時間で配置を変え、スペースを有効に使えるようにしている。
	2	職員の配置数は適切である	5	1	0	長期休みなどで午前クラスの受入人数が多くなった際にも職員が手薄にならないように増員を常に検討している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	2	1	動線を工夫した配置をしたり、支援中は刺激が少なくなるよう支援環境に配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	0	整理整頓や清掃、おもちゃ等の消毒をこまめにやっている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	0	日々の支援後にミーティングを行い、振り返りと改善案などを話し合っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0	頂いた意見を参考にイベントの企画等を検討している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0	ホームページで公開している。また、今後は毎月発行しているおたよりで利用者保護者様にお知らせするようにする。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	2	4	外部評価の導入を次年度以降の課題とする。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	2	2	外部研修には定期的に参加しているが、日々の業務に追われて時間が取れないこともあるので、業務効率化を図り、時間の確保に努める。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	0	計画作成にあたっては、計画案ミーティングを行い、保護者の課題、ニーズを共有した上で支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	0	ツールは運用しているが、他の標準化されたツールの活用も検討必要。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	2	0	児童発達管理責任者を中心に具体的な計画を立案している。児童発達支援ガイドラインの内容については、今後職員間で共有しながら、理解を深めていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	0	利用時一人ひとりの支援計画に基づき、支援を行っていくように努めている。児童発達支援計画の作成時には職員間で話し合い、共通理解に努めている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	0	活動プログラムの立案は職員間での話し合いにより決定している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0	季節を感じるができるような活動内容や、一人ひとりに合わせた個別活動を行い、固定化しないよう努めている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0	0	主に午前の部では集団活動、午後の部では個別活動を行っている。一人ひとりに合わせた課題に取り組んでいく。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	0	前日や当日に活動内容の確認、利用児の確認をし、支援担当職員を決めている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	0	ミーティングを行い子どもの様子を聞き取り、支援内容の確認をしている。その日に入っていない職員にも伝わるよう、ミーティング記録を作成し、情報共有に努めている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	ミーティングファイル、連絡事項ノートを作成し、職員間での話し合いにより、支援の検討、改善に努めている。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	定期的なモニタリングを行い、見直しを行っている。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1	0	可能な限りそうしている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0	0	保健所、相談支援事業所等の関係機関と連携して支援を行っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている					受け入れしていない。今後も予定はなし。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					受け入れしていない。今後も予定はなし。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	0	0	幼稚園、保育園への入園時には入園先の担当者と情報を共有するようにしている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	0	0	小学校入学時には入学先の担当者と情報を共有するようにしている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	0	0	センター主催の研修等に参加している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	0	6	6	今後、児童館との交流を検討する。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	0	6	6	今後、担当者とのコンタクト、会議への参加等を検討する。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0	0	毎日の送迎時に子どもの家庭での状況、事業所での出来事や状況を密に伝え合い、子どもの発達状況を随時把握するようにしている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	0	6	6	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	0	0	分かりやすい説明を継続する。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	0	0	定期的なモニタリングを行い、個別支援計画の立案をし、その説明を行っている。そして、保護者の確認、同意を得るようにしている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	0	0	定期的なモニタリングの実施と、送迎時には必要に応じ保護者との話し合いの場を設け、支援につなげている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	2	4	4	保護者会の開催の等、保護者同士の交流や、連携につながる取り組みを検討する。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0	0	相談や申し入れについては、その日のうちに対応するようにしている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0	0	毎月お便りを発行し、保護者への情報発信を行っている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4	2	0	0	注意しているが、今一度確認をし、なお一層の注意に努める。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	2	0	0	日々の連絡帳の記入、お迎え時には支援内容、子どもの様子をお伝えしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3	0	0	事業所の行事に招待はないが、行事への協力をさせていただいている。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	0	定期的に避難訓練を実施している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0	定期的に避難訓練を実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	2	0	保護者からの聞き取り等により、入所前に確認している。入所後に検査等を受けた場合には、その都度聞き取りを行っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3	0	契約時のヒアリングでアレルギーに関する諸々の確認を行っている。もし、アレルギーがある場合は更に細かく確認し受入に際して細心の注意を払い対応するようにしている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	0	3	3	ヒヤリハットが発生した時には職員間での話し合いを設け、記録し、情報共有をしている。ヒヤリハットだけの事例集の作成はないので、作成していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1	2	全従業員に対して研修機会を確保するようにする。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	3	0	現在身体拘束が必要である児童がいないため、児童発達支援計画への記載はない。